

百人一首 (歌番号: 56 ~ 60)

<p>おおえやま          大江山          いくのの道の          遠ければ          まだふみもみず          天の橋立</p> <p>こしきぶのいし          小式部内侍</p> 	<p>やすらはで          寝なましものを          小夜ふけて          かたぶくまでの          月を見しかな</p> <p>あかぞめえもん          赤染衛門</p> 	<p>ありまやま          有馬山          猪名の笹原          風吹けば          いでそよ人を          忘れやはする</p> <p>だいにのさんみ          大式三位</p> 	<p>めぐり逢ひて          見しやそれとも          わかぬ間に          雲隠れにし          夜半の月かな</p> <p>むらさきしきぶ          紫式部</p> 	<p>あらざらむ          この世のほかの          思ひ出に          いまひとたびの          逢ふこともがな</p> <p>いずみしきぶ          和泉式部</p> 
<p>まだふみも          みずあまの          はしだて</p>	<p>かたぶくま          でのつきを          みしかな</p>	<p>いでそよひ          とをわすれ          やわする</p>	<p>くもがくれ          にしよわの          つきかな</p>	<p>いまひとた          びのあうこ          ともがな</p>